

『増補改訂 本願寺史』第4巻刊行にあたって (第8回)

第七章 教団と教育機関 その概要

◎第七章の構成

昨年、本願寺出版社より刊行した『増補改訂本願寺史』第4巻の第七章では、教団の教育事業について叙述しています。その内容は次のような構成からなっています。

- 一 教育の展開
- 二 龍谷大学の総合大学化
- 三 中央仏教学院
- 四 幼稚園・保育園・仏教保育
- 五 龍谷総合学園

▼教育の展開

1945 (昭和20)年8月の敗戦をうけて、龍谷大学では戦時体制からの脱却が図られました。戦争関係図書の抜き出しや小銃・銃剣などの軍事教練関係物の移管(返還)、そして明治天皇の肖像「御真影」の撤去などがおこなわれました。

また、GHQの指令により戦時中に戦争協力をした教職員の追放がおこなわれることとなり、龍谷大学でも教職員適格審査が始まりました。数度にわたる審査の結果、戦時教学を担っていた宗学者たちが教壇を離れました。

そして1949 (昭和24)年、新制大学として再スタートを図ることとなりました。

▼龍谷大学の総合大学化

新制大学となった龍谷大学の課題は、文学部だけの単科大学から他学部を擁する総合大学への転換をどう図るかということでした。

1955 (昭和30)年と1958 (昭和33)年に、本願寺宗会において、宗祖七〇〇年大遠忌収支計画のうちに龍谷大学拡充費が組み入れられることとなり、1960 (昭和35)年に新校地として京都市伏見区深草の地を取得し、1961 (昭和36)年に文部省から経済学部の設置認可を得ました。

その後龍谷大学は、経営学部(1966年)、法学部(1968年)、理工学部(社会学部(1989年)、国際学部(1996年)、大学院実践真宗学研究科(2009年)、政策学部(2011年)、農学部(2015年)、心理学部(2023年)

を開設しています。

また、1960年代後半から徐々に大学紛争の気運が高まり、学生側は大学改革を要求することとなります。その焦点の一つが、本願寺による大学自治への介入の問題でした。1970（昭和45）年以降、数度にわたり学長選挙規程が改められることとなりましたが、その間には学長代行・学長事務取扱などを置くこともありました。結果として、1977（昭和52）年に新規程が制定され、学長の資格要件に浄土真宗の信者であることが明記されました。

▼中央仏教学院

中央仏教学院は、1920（大正9）年に京都府より設置認可を受け開設されました。当初は、本願寺集会所内に置かれていましたが、淳風会館（現 顕道会館）、西山別院を経て、1928（昭和3）年に山ノ内へ移転しました。

1945（昭和20）年度は戦争の影響で休校を余儀なくされましたが、翌年

度から再開されました。1949（昭和24）年度には新制度による本科・予科が新設され、翌年度には研究科も設置されました。

1972（昭和47）年9月に、宗祖御誕生八〇〇年・立教開宗七五〇年を記念して、通信教育課程が設置されました。

▼幼稚園・保育園・仏教保育

教団の幼稚園・保育園事業は、1941（昭和16）年に、本願寺直轄の本願寺中央幼稚園を開設したことに始まりま

す。1948（昭和23）年に、蓮如宗主四五〇回遠忌記念事業の一環として浄土真宗本願寺派保育事業協会を、翌年には社会事業協会を設立しました。全教団にむけて保育所の新設を要請するなど、保育事業を教団の教化活動として位置づけ、積極的に推進しました。

教区や各地区で本願寺関係の幼稚園・保育園の連合組織が発足していくようになり、1961（昭和36）年に、大遠忌法要記念全国保育大会を開催し、勝如宗

主は「幼少年教化にたずさわる人人への消息」を發布しました。

1967（昭和42）年度保育事業協会定期役員会において、団体名を浄土真宗本願寺派保育連盟と改称し、裏方を総裁とすることなどが決定されました。そして、1970（昭和45）年に、真宗保育の入門書、指針書として『まことの保育』を刊行しました。

ここに示された「まことの保育」は、現在まで本願寺派の保育の指針となっています。

▼龍谷総合学園

龍谷総合学園は、1951（昭和26）年に結成された浄土真宗本願寺派学校連合会を端緒とします。この連合会の結成は、戦前期には学校の経営に本願寺が強い影響力を保持していましたが、戦後の私立学校法により学校側が主体となった運営をおこなうためでした。

学校連合会の重要課題の一つに、宗教科の授業テキストの作成がありました。

宗門立学校の宗教科担当教員による会合を重ね、1953（昭和28）から翌年にかけてテキストが刊行されました。

戦後の経済成長を背景に、高等教育機関への就学率は急速に高まり、本願寺派関係大学の創設・学部増設が相次いだことをうけて、1995（平成7）年に学校連合会を発展的に改組して、龍谷総合学園が設立されました。龍谷総合学園は、大乘仏教の精神・親鸞聖人の精神を「建学の精神」とする関係学校法人によって構成され、2024（令和6）年4月現在で、加盟法人数23、加盟教育機関72校に及び、日本最多最大の学校グループとなっています。

本願寺史料研究所

—15年をかけて本文編完結—

親鸞聖人750回大遠忌を機縁として、これまでの研究成果を反映させ、半世紀ぶりにより充実した形で再編纂した増補改訂版。

本願寺史料研究所 編

最新刊
本願寺史第四巻がついに完成



増補改訂 本願寺史

「増補改訂 本願寺史 第四巻」登場！

第四巻では勝如宗主継職から概ね2000(平成12)年までを対象に叙述し、勝如宗主・即如宗主・専如門主のご事績に加え、教団組織・主たる法要・教化団体・国際伝道・教育機関・社会活動・同朋運動・平和運動など多岐にわたるテーマから教団全体について体系的に取り上げ、本願寺教団の近現代史を振り返る。

A5判／908頁／函入 8,800円(税込)

第一巻

既刊

親鸞聖人のご生涯から戦国時代末期までの中世における本願寺教団の成立とあゆみについて。

A5判／626頁／函入
8,800円(税込)

第二巻

既刊

安土・桃山時代から江戸時代末期までの近世における本願寺教団のあゆみについて。

A5判／726頁／函入
5,500円(税込)

第三巻

既刊

幕末維新时期から昭和初期までの本願寺教団の近代化に伴う動向について。

A5判／736頁／函入
5,500円(税込)



本願寺出版社



0120-464-583 FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) <https://honkwanji-shuppan.com/>

発送梱包手数料
無料

